

加古川中流圏域河川整備計画

三木ブロック 第四回懇話会

前回の懇談会・地域ブロック懇話会  
の概要

平成24年10月30日

兵庫県北播磨県民局  
加東土木事務所

# 懇談会・地域ブロック懇話会の位置づけ

## 懇談会

学識経験者・関係団体・  
地場産業



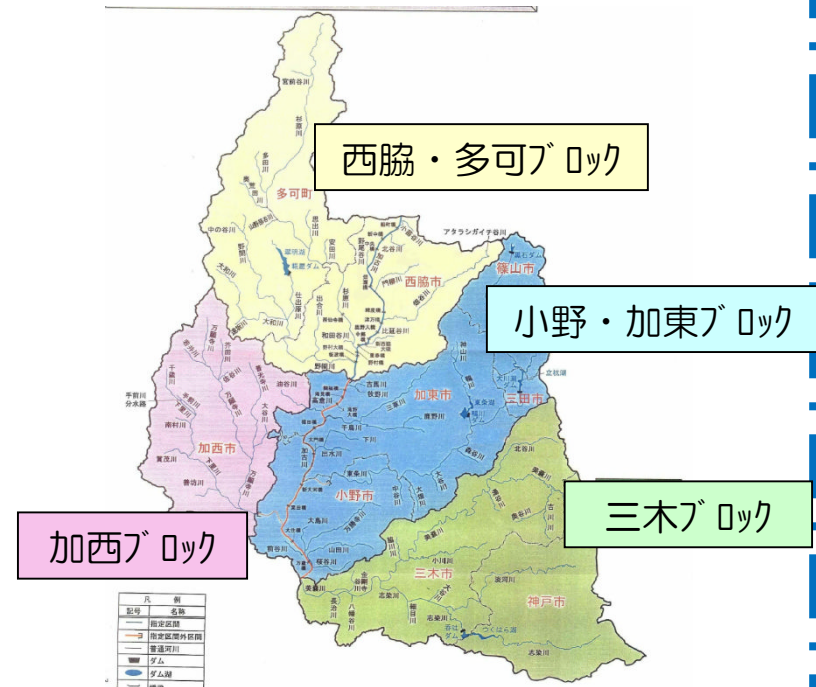
## 地域ブロック懇話会

学識経験者・関係団体・  
地場産業・関係住民

学識経験者・関係者・関係住民の意見  
を地域ブロック毎に聴取し、整備  
計画の策定にあたり意見を述べる。

## 【懇談会設置目的】

加古川中流圏域の兵庫県管理河川について河川整備計画を策定するにあたり、必要な事項について協議・検討し、北播磨県民局長に対して意見を述べることを目的とする。



# 懇談会・地域ブロック懇話会 開催概要 1/2

## 地域ブロック懇話会

第一回 懇談会  
(平成14年12月)

【主な議事】 計画趣旨、流域概要



第二回 懇談会  
(平成15年10月)

【主な議事】 地域ブロック懇話会報告、過去の洪水、整備区間選定、改修工法



第三回 懇談会  
(平成17年3月)

【主な議事】 平成16年10月洪水概要、目標流量の再設定



第一回 地域ブロック懇話会  
(平成15年3月)

【主な議事】 計画趣旨、流域概要



第二回 地域ブロック懇話会  
(平成15年7月)

【主な議事】 過去の洪水、整備区間選定、改修工法、現場見学

# 懇談会・地域ブロック懇話会 開催概要 2/2

懇談会

地域ブロック懇話会

第四回 懇談会  
(平成23年12月)

【主な議事】 懇談会運営、これまでの経緯、  
河川整備計画(原案)

第三回 地域ブロック懇話会  
(平成24年3月)

【主な議事】 これまでの経緯、  
河川整備計画(原案)

第五回 懇談会  
(平成24年8月)

【主な議事】 河川整備計画の目標に関する  
事項、河川の整備と実施に関  
する事項

第四回 地域ブロック懇話会  
(平成24年10月)

【主な議事】 河川整備計画の目標に関  
する事項、河川の整備と  
実施に関する事項

第六回 懇談会  
(平成24年12月予定)

今回

# 三木ブロック 第三回懇話会

日時	平成24年3月8日（水） 14:00~16:00
場所	三木市役所 2階入札室
委員	5名出席
議事 要旨	<ul style="list-style-type: none"><li>◆懇談会運営について</li><li>◆これまでの経緯の説明</li><li>◆平成16年10月台風23号災害対策の概要と効果</li><li>◆平成23年9月台風12号・15号による被害</li><li>◆加古川中流圏域河川整備計画(原案)について</li><li>◆主な意見<ul style="list-style-type: none"><li>・美嚢川、志染川では、竹林や中州、ゴミ、橋等の水の流れを阻害する要因がある。</li><li>・避難作業に支障が出るため、美嚢川の流れを改善してほしい。</li><li>・美嚢川の被害を軽減するため、呑吐ダムの放流について対策を考えてほしい。</li></ul></li></ul>

# 第三回地域ブロック懇話会での主な意見に対する回答

主な意見	回答	素案記載箇所
<p><b>【洪水による災害発生の防止又は軽減に関する目標】</b> ・現時点での暫定的な目標はあるのか。(小倉委員)</p>	<p>●既往最大洪水流量に見合った流量を原則とするが、下流区間の改修状況を見据え、下流区間とのバランスを考慮して整備計画目標流量を設定する。</p>	<p>P12～13</p>
<p><b>【美囊川の河川整備について】</b> ・整備目標流量について、既往の最大洪水に見合った流量ということになっているが、具体的にどのような数値になるのか。(香下委員) ・美囊川は湾曲が多く、浸水の大きな要因の一つではないか。湾曲部分の対策を行えないのか。(香下委員) ・美囊川の口吉川では、美囊川によって南北が分断されており、避難作業に支障が出るのが考えられる、自治会では美囊川の流れを改善して欲しいという要望を出している。(西本委員)</p>	<p>●美囊川下流では、既往最大洪水であった平成16年10月(台風第23号)洪水に相当する規模の流量(1200m<sup>3</sup>/s)を整備計画目標とする。 ●湾曲の河川を直線化することは、下流へ流れる時間を短くし、下流の流量が増大するため、近年ではあまり行われなくなっている。美囊川では、背後地の資産状況や、緊急性、県の予算を考慮して、順次、掘削や築堤により治水安全度を向上させていく予定である。当面は下流から改修をすすめていく予定である。 ●上流では維持管理の中で、堆積土砂の除去などをおこなっていく予定である。土砂、樹木等によって川の流れが阻害されていないか平素から留意し、治水上問題があると判断した場合には、堆積土砂撤去や障害物の除去などを行い、河道断面の維持に努めていく。</p>	<p>P21～23 P71</p>
<p><b>【河川環境の整備と保全】</b> ・外来種のヌートリアをよく見かけるが河川環境へ害はないのか。なにかあれば、触れた方がよいのではないか。(香下委員)</p>	<p>●生態系に著しく影響を与える特定外来生物については、発見した場合、関係機関と連携し対策に努める。</p>	<p>P15</p>
<p><b>【人と自然との触れ合いの場の創出】</b> ・住民が憩いの場として河川を利用する場所として、公園や堤防から川に降りる施設を整備することを考えているのか。(室谷委員)</p>	<p>●人と自然のふれあいの場を創出するよう、河川整備を進めていく。具体的な整備については、地元と協議しながら今後設定していく予定である。</p>	<p>P69～70</p>

## 第五回 懇談会

日時	平成24年8月29日（水） 14：00～17：00
場所	兵庫県社総合庁舎 別館4階会議室
委員	8名出席
議事 要旨	<ul style="list-style-type: none"><li>◆河川整備計画の目標に関する事項</li><li>◆河川の整備と実施に関する事項</li><li>◆主な意見<ul style="list-style-type: none"><li>・ 既往最大流量が既定計画流量を上回っている区間はどの程度の割合になるのか教えてほしい。</li><li>・ 河道だけではなく森林や田んぼの保水力を生かした対策を行っていく必要がある。</li><li>・ 河川整備に当たっては、自然を生かし環境に配慮した方法を行っていく必要がある。</li><li>・ 山間部の小さな河川における河川整備では、川幅の広い河川とは違った影響もあるため、慎重に工事をしてほしい。</li><li>・ 河川工事の際は、濁水対策を十分に行ってもらいたい。</li></ul></li></ul>